

2023 O P 級関西選手権

京都府宮津市 田井宮津ヨットハーバー

2023 年 6 月 10 日～11 日

帆走指示書

[DP] の表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができることを意味する。

[SP] の表記は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを与えることができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合には審問を経てプロテスト委員会の裁量によりペナルティーが決定される。

1 規則

2021-2024 セーリング競技規則（以下「RRS」）に定められた規則を適用する。但し、この帆走指示書の各項で、RRS の一部を変更する。

2 競技者への通告

競技者への通告は、公式掲示板のかわりとして大会 LINE オープンチャットに掲示する。

下記の QR コードをスキャンすることで招待が受けられる。

https://line.me/ti/g2/MR7CCWDK2G8OLnfbSxIcnHCaHR1yE7O8jyr68A?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default



※プロフィール名は、下記形式にて登録してください。

O P 級保護者の場合：クラブ名セールナンバー（例：宮津 3000）

保護者 1 名に対し選手複数名の場合は、選手全員分を列挙ください。
（例：宮津 3000,4000）

コーチの場合：クラブ名コーチ 1（例：宮津コーチ 1）

2 名以上の場合は、末尾に連番を付与ください。

※LINE での質問・問い合わせはご遠慮ください。

3 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、その日の最初のレースのスタート予定時刻 60 分前までに掲示する。

ただし、レース日程の変更は、前日の 18：00 までに掲示する。

4 陸上で発する信号

4.1 陸上で発する信号は、陸上本部に設置のポールに掲揚する。

4.2 [DP] 音響信号 1 声と共に掲揚される D 旗は、「予告信号は D 旗の掲揚後 30 分以降に発せられる。」ことを意味する。艇はこの信号が発せられるまで、出艇をしてはならない。

5 日程

5.1	6 月 10 日（土）	08：00	ゲート開門
		09：00	受け付け
		10：30	開会式 ブリーフィング
		11：25	1 日目第 1 レース予告信号
			引き続きレースを行う。

6月11日(日) 08:00 ゲート開門
09:25 2日目最初のレース予告信号
引き続きレースを行う。
但し、13:30以降に予告信号は発しない。
16:00(予定) 閉会式 表彰式

5.2 各クラス共に、1日に行われるレースは5レースまでとする。

5.3 1つのレース又は一連のレースを行う場合、レースが間もなく行われることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する5分以前に音響信号1声と共にオレンジ旗が掲揚される。

6 クラス旗

クラス旗は、次の通りとする。

Aクラスは、白地に赤のOP旗を用いる。

Bクラスは、赤地に白のOP旗を用いる。

7 クラスの識別

Bクラスに参加する艇は、レース委員会が配付するリボンをセールのパークに取り付けなくてはならない。

8 レースエリア

添付図2に示す。

9 コース

添付図1の通り、S-1-2-3-4-Fとする。各マークを左に見て通過すること。

10 マーク

10.1 1, 2, 3, 4マークは、ピンク色の球形ブイを用いる。

10.2 スタートマークは、スタートラインのスターボードエンドにあるレース委員会艇とポートエンドにあるオレンジ色の球形ブイとする。

10.3 フィニッシュマークは、フィニッシュラインのスターボードエンドにあるレース委員会艇とポートエンドにある青色の球形ブイとする。

11 スタート

11.1 スタートラインは、スターボードエンドに位置するレース委員会艇のオレンジ色の旗を掲げたマスト又はポールと、ポートエンドに位置するオレンジ色のブイの間とする。

11.2 スタート信号後4分以内にスタートしない艇は、審問なしに「スタートしなかった(DNS)」と記録される。これはRRSA4とA5を変更している。

11.3 Bクラスの予告信号は、Aクラスのスタート後に発せられる。

11.4 [DP] 他のクラスのスタート手順の間、予告信号が発せられていないクラスの艇は、スタートエリアを回避しなければならない。

12 コースの次のレグの変更

スタート後のコースレグの変更は行わない。これは、RRS33を変更している。

13 フィニッシュ

フィニッシュラインは、レース委員会艇の青色の旗を掲げたマスト又はポールと、青色のブイとの間とする。

14 ペナルティー方式

RRS 付則 P を適用する。

15 タイムリミット

15.1 RRS 3 5 に基づく先頭艇のタイムリミットは定めない。

15.2 先頭艇のターゲットタイムは、40分とする。

ターゲットタイム通りにならなくても救済の要求の根拠にならない。これは RRS 6 2. 1 (a) を変更している

15.3 先頭艇が RRS 2 8 に従ってフィニッシュした後 15 分以内にフィニッシュしない艇は審問無しに「DNF」と記録される。これは RRS 3 5、A 4 及び A 5 を変更している。

15.4 レース委員会は、RRS 3 2. 1 に定められた理由に加えて、ターゲットタイム内に 1 艇もフィニッシュしそうにない時にも、コースを短縮あるいはレースを中止することができる。これは、RRS 3 2. 1 を変更している。

16 抗議と救済要求

16.1 RRS 6 1 の抗議の要件に加えて、抗議しようとする艇は、レース委員会に通知するために、フィニッシュラインに位置するレース委員会艇に近づき被抗議艇のセール番号を口頭で伝えなければならない。なお、フィニッシュ後レース委員会に対してその意思を伝えるまでの間に支援艇の乗員といかなる接触もしてはならない。これは RRS 6 1. 1 (a) に追記している。

16.2 抗議、救済要求及び審問再開要求は、陸上本部の受付で入手できる。それぞれ適切な時間までに記入し、提出されなければならない。

16.3 抗議締め切り時刻は、A、B クラスそれぞれその日の最終レース終了時刻、または、レース委員会が「本日はこれ以上レースを行わない」と信号を発した時刻のいずれか遅い方の 60 分後とする。プロテスト委員会は状況を判断しこれを延長する場合がある。

16.4 当事者であるか、または証人として名前があげられている審問にかかわっている競技者に対して、抗議締め切り時刻 30 分後までに通告を掲示する。

16.5 審問は陸上本部の審問室で行われる。審問の当事者と審問の開始予定時刻は、抗議締め切り時刻の 30 分後までに掲示される。

16.6 レース委員会またはプロテスト委員会による RRS 6 1. 1 (b) に基づく艇への抗議は、掲示して通告する。

16.7 指示 14 に基づき RRS 4 2 に対するペナルティーを課せられた艇のリストを掲示する。

17 得点

17.1 得点方式は低得点方式を適用する。

17.2 本大会は最大で 7 レースを予定する。大会が成立するためには 1 レースの完了を必要とする。

17.3 5 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズ得点は、レース得点の合計とする。

17.4 5 レース以上完了した場合、艇のシリーズ得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

18 安全規定

- 18.1 [SP] 艇は、出艇申告を出艇までに、帰着申告は帰着後、すみやかに艇長自身が申告用紙にサインしなければならない。これに違反した艇に対して、レース委員会は審問なしに2点の得点ペナルティーを与えることができる。これは、RRS 6 3. 1、A 4 及び A 5 を変更している。このペナルティーが課された艇は、「STP」と記録される。このペナルティーは、出艇申告違反の場合はその直後に、帰着申告違反の場合はその直前に行われたレースに対して課される。このペナルティーが課されるべきレースが成立せず帰着した場合は、このペナルティーは課されない。
- 18.2 [DP] レースからリタイヤする艇は、レース海面から離れる前に可能であればレース委員会艇またはプロテスト委員会艇に伝えなければならない。また、受付にある申告書にてリタイヤの申告をしなければならない。
- 18.3 救助を必要とする選手は、笛を吹くか手を振って知らせなければならない。
- 18.4 レース委員会は救助を要すると判断した場合には、選手の意向にかかわらず救助することができる。これは救済要求の根拠にはならない。RRS 6 2. 1 (a) を変更している。

19 装備と計測 [DP]

艇または装備は、規則に従っていることを確認するためにいつでも検査されることがある。

20 支援艇 [DP]

- 20.1 支援艇は、受付にて出艇・帰着申告を行わなくてはならない。
- 20.2 支援艇は、海上ではレース委員会の用意する「ピンク旗」の標識を付けなければならない。
- 20.3 支援艇は、準備信号からレースが終了するまで、またはレース委員会がレースの延期、ゼネラルリコール、もしくは中止の信号を発するまで、コースエリアから100m以上離れていなければならない。
- 20.4 支援艇に対する救助活動要請は、レース委員会艇にピンク旗を掲揚して通告する。この要請があった場合、支援艇は救助活動のためにレースエリアに入ることができる。ただし、救助活動を除き、レース艇に援助を与えてはならない。

21 ゴミの処分 [DP]

ゴミは、支援艇、レース委員会艇、プロテスト委員会艇に渡してもよい。

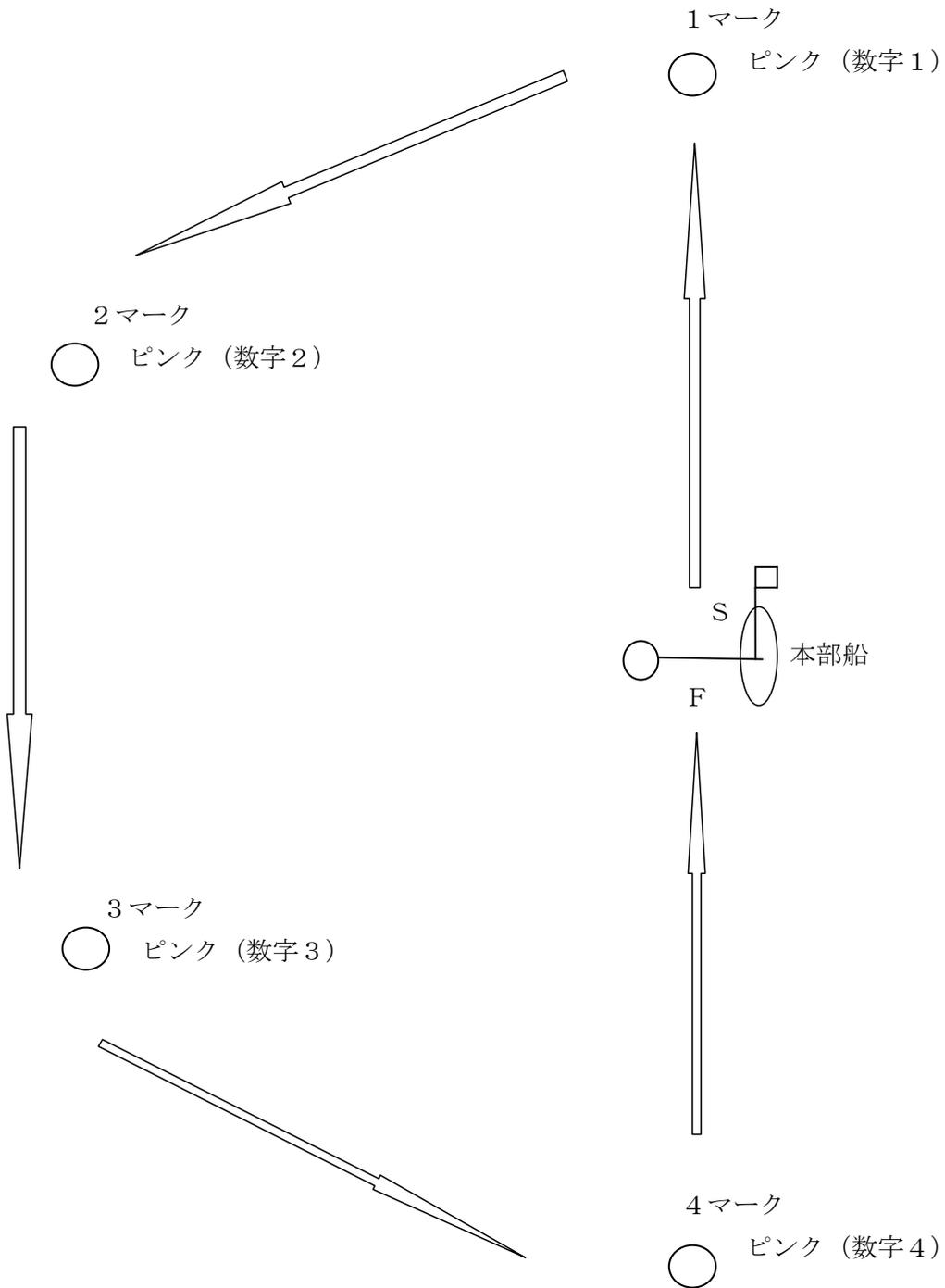
22 賞

A・B各クラス1～3位を表彰する。

23 責任の否認

選手及び支援者は自分自身の責任で参加する。主催団体は、大会に関連して、または、大会前後もしくは期間中に被った物的損傷または人の負傷もしくは死亡に対するいかなる責任も負わない

【添付図 1】



【添付図 2】

